

転入学・編入学にかかる留意事項

広島市立広島みらい創生高等学校

1 出願について

(1) 転入学について

転入学は、現在どこかの高等学校に在籍している人が対象です。

平日登校コース（定時制の課程）への転入学については、原則として現在定時制の課程、総合学科に在籍し、「保護者の転勤等に伴う転居等一家転住」が要件となります。したがって、一家転住でない近隣校などからの出願はできません。

通信教育コース（通信制の課程）への転入学については、「保護者の転勤等に伴う転居等一家転住」の要件はありません。

(2) 編入学について

編入学は、高等学校中途退学者が対象です。

編入学については、平日登校コース（定時制の課程）・通信教育コース（通信制の課程）ともに、高等学校中途退学者で一部の単位を修得していることが必要です。したがって、1年次に中途退学し、単位を修得していない場合は、出願できません。

2 履修について

平成31年度は、本校では、1年次科目と2年次科目しか開講しません。したがって、すでに多くの単位を修得している場合は、本校へ入学するよりは、他の定時制の課程・通信制の課程をもつ高等学校へ入学した方が、修得できる単位が多くなる分、早期に卒業し、進学や就職という自分の夢にチャレンジできる可能性が高まります。

本校への出願要件に「これまでの修得単位数の合計が概ね33単位以下」という要件を入れているのはそのためです。

3 転入学・編入学について

転入学・編入学を考えている生徒のみなさんは、現在の高等学校、あるいは前に在籍していた高等学校から、本校へかわって何がしたいのか、あるいは、どのような高校生活を送ろうとしているのかといった、目標や決意をしっかりとって転入学・編入学することが求められます。

特に、通信教育コース（通信制の課程）を考えている生徒のみなさんは、通信教育コース（通信制の課程）は毎日登校するのではないため、全日制の高等学校よりは楽ではないかと考えている人もいるかもしれませんが、楽だからと考えている人は認識を改める必要があります。

通信教育コース（通信制の課程）の場合、卒業するには、レポート提出とスクーリングは絶対に欠かせない要素です。したがって、期日までにレポートを提出できるよう、自分で計画を立ててやるか、スクーリングの日には遅刻しないように早く起きるなど、自分を律する力が必要です。期日までにレポートを提出したり、決められた日にスクーリングに出席したりすることができなければ、単位を修得し卒業することはできません。今日はレポートの提出締切日ですとか、今日はスクーリングの日です、といった連絡は学校からはしません。自分で日程等を把握しておかなくてはなりません。そういう点では、通信教育コース（通信制の課程）での勉強は全日制の課程での勉強よりは、ずっと厳しいと思います。

目標や決意をしっかりとった上で、本校への転入学・編入学について検討してください。